

ぶらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第85号

古牧だより通算179号

古牧の郷土史

「古牧村は本当に牧場だったの？」 28年度公民館部「役員研修会」

前編

6月4日(土)古牧公民館で公民館部役員研修会が48人の参加で開かれました。

今回は井原今朝男西和田区長(国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学名誉教授で日本中世史が専門)を講師にお迎えし、「古牧の郷土史」についてお話ししていただきました。

「古牧村は元牧場だった」は本当なの？

古牧誌や長野市誌では、奈良・平安期は牧場で無住地帯説です。ところが西尾張部の村南遺跡、上高田の西方・寺村遺跡、西和田の平林東沖遺跡での古墳から奈良・平安時代のかまど付き住居址、井戸跡、掘立柱建物が出土。セットで母子の土



こうぼ 壙墓、犬・馬・鹿・牛と鳥類が食料化された骨の跡、青銅器の金メッキ蝶番が発掘されたことから、奈良・平安期に居住地帯、水田開発、郷村の開発進行の歴史像が浮かびあがってきたと話されました。

中世の古牧は天皇家の直轄だったため国立歴史民俗博物館にしか当時の資料はなく、大学との共同研究で当時のことが明らかになってきたそうです。

(公民館部)

次号 後編へ続く

子育てを安心してできる古牧地区をめざして！

子どもは誰より何よりお母さんが大好きです。1分1秒も休まない希望のかたまりです。

▶子どもに心を育てる特効薬はない???

子どもとお母さんの長所を見つけて よくがんばったね すごいね ありがとう

▶プラス志向の言葉がけの習慣を身につける

子どももお母さんも、支援する私たちもエネルギーになってパワーもりもりわいてきます。

どの会場も自由にご参加ください。お待ちしております。

各地区子育て支援部
(各地区の会場)

- ・古牧地区にここ広場 (古牧児童センター)
- ・更生保護女性会 (古牧児童センター)



(子育て支援部)

古牧地区「男女共同参画セミナー」 夫婦で考える老後の人生設計

6月22日（水）、古牧公民館で古牧地区男女共同参画セミナーが開催されました。講師は「NPO法人ライフデザインセンター代表理事・介護支援専門員」の小川和子先生。「人生折り返し地点からの生活設計 夫婦で見つけよう自分らしい人生」をテーマに、各地区から約100名が集まり盛大に開かれました。

幸せな人生のキーワード・・・

健康・経済・生き甲斐を主眼に

折り返し地点の生活設計として、60代前半と後半のライフデザインを大別して教えてい



ただきました。

60代までなら定年退職を迎えるが、今の社会では65歳まで再就職は可能。子ども

の独立、老親介護、若い時代に家を建てた方は住宅改修、農業他経営方針の転換、生前分与財産の検討、医療、介護との付き合い等、会社人間として働いていた人達が考え方を変えて見つめ直し、新しい夫婦の生活スタイル

として考える時期です。

60代後半からのライフデザインは予期せぬ家族の別



れがきます。その時の対応として、終の棲家の選択、医療介護との付き合い、夫婦の別れに伴う一人暮らしの自立生計などの考え直しが必要となります。体力の衰えと合わせて脳の衰えが進んでいきます。決断の出来る内にライフデザインを確立しておきましょう。

老後に必要なお金

現在の高齢化社会に対応して、例えば推定寿命90歳として考え、残り25年であれば、どの位のお金が必要でしょうか。

全国統計で見ますと、普通の生活で1ヶ月概ね27万円、1年では324万円、25年では9,720万円が必要となります。

夫婦で作るエンディングノート

今までの生活を振り返りつつ、大切な人への感謝の思いをつづりましょう。生命保険の加入データの確認、年金証書と受取年金の確認、財産台帳の作成、遺言書の作成準備、自分の葬儀案の作成、お墓の選択など、夫婦で話し合い、準備しておくといいいでしょう。

(人権・男女参画部)

NPO法人（特定非営利活動法人）ライフデザインセンター

〒381-0034 長野市高田1029 エンドウビル1F TEL: 026-229-8001 FAX: 026-229-8002 代表理事 小川 和子

猪俣正由氏 長野市消防団長に就任

古牧地区・長野第6分団で30年以上消防団員として活動されていた猪俣正由氏が、これまでの実績が認められ、本年4月1日から長野市の消防団（団員3,400名）の最高責任者である消防団長に就任されました。誠におめでとうございます。

中村地区を中心に地域活動にも尽力され、その責任感と統率力のある人柄はご承知のとおりです。

今後、益々のご活躍を祈念して6月19日に長野市消防団長野第6分団と古牧地区住民自治協議会の共催で就任祝賀会が開かれました。



世代交流オープングラウンド・ゴルフ大会

盛大に開催

— 200人を超える皆さん、古牧小グラウンド —

第6回となる「世代交流オープングラウンド・ゴルフ大会」が6月11日、古牧小学校のグラウンドで開かれました。

始球式の大会主催者・住民自治協議会会長の打球は見事ホールインワンで、昨年と2年連続。参加した大勢のみなさんから大歓声が上がリ話題となり、大会が始まりました。

参加者180名を24チームに編成し、各チームには古牧グラウンド・ゴルフ協会のみなさんがスコアラ・指導者として競技を進めていただき、大変素晴らしい大会となりました。



初めてグラウンド・ゴルフをする小学生も指導者であるおじいさん・おばあさんに手ほどきを得ながら、元気に一所懸命プレイするほほえましい姿も見られ、世代交流の輪が広がりました。



6月なのに真夏の太陽を思わせる30度を越す暑さ。準備した冷水を飲みながらみな元気一杯、グラウンドのあちこちから歓声があがる活気あふれる大会となり、大会を準備・運営して下さった古牧老人クラブ連合会、古牧グラウンド・ゴルフ協会の役員のみなさんと後片付け・反省会。協力いただいた役員各位に感謝して、静寂が戻ってきたグラウンドを後にしました。

成績は次の通りです。 (福祉健康部)

団体の部	1位		2位		3位	
	川 端		五分一		平 林	
小中学生の部	北野 溪介	西和田	藤橋淳之介	西尾張部	窪田 煌也	西尾張部
保護者の部	海藤 央	東和田	堀内美知代	平 林	小林 肇	西尾張部
一般男子の部	市村 弘実	平 林	田島 英雄	上高田	松島 利和	西尾張部
一般女子の部	渡邊 幸枝	平 林	長田 陽子	平 林	神林ヒフ美	上高田

交通事故「ゼロ」を願う

交通安全街頭啓発活動を実施

交通事故「ゼロ」を目指し、毎月第1水曜日の午前7時から8時まで、西尾張部交差点で街頭啓発をしています。これは住民自治協議会の安全部と交通安全協会古牧支部の共催です。



交通安全観音像周辺の草取り

交通安全部と交通安全協会古牧支部で5月から10月までの第4土曜日に、西尾張部三角地に交通安全を願って建立された観音像周辺の草取りをしています。午前6時半から7時

まで作業し、交通事故「ゼロ」を願っています。

中村区で交通死亡事故発生

5月25日に国道19号線の「Kマート」北側T字交差点で北に右折しようとした軽自動車と西から直進してきたオートバイが衝突。オートバイに乗っていた27歳の男性が死亡する事故が起きました。



この事故を受けて6月9日に国土交通省・中央警察等の行政機関と住民自治協議会安全部会・中村・北条の区役員で事故現場検証を行い、その後、公民館で再発防止策を検討。日頃から交通ルールを守る大切さが浮き彫りになりました。 (交通安全部)

7月から8月の主な行事実施日のお知らせ (多くの皆様の参加をお待ちしています)

事業名	実施日	各区	実施内容	お問合せ先
男性の料理教室	7月22日(金)	古牧公民館	お酒に合うメニュー	ボランティアセンター 244-8159
夏の交通安全運動	7月22日～ 7月31日	各区	交通安全の啓発	交通安全部 224-8494
社会を明るくする運動集会	7月23日(土)	古牧公民館	青少年の非行問題の理解を深める	実行委員会(総務部) 259-8359
世代交流マレットゴルフ大会	7月31日(日)	長野運動公園	地域の活性化及び住民のコミュニケーションを図る	福祉健康部 263-4376
介護者相談会	8月12日(金)	古牧公民館	介護と医療について	ボランティアセンター 244-8159
防火・防犯・交通安全ポスター審査会	8月20日(土)	古牧公民館	応募作品の審査	防犯部 243-4271
公民館対抗球技大会	8月21日(日)	3会場	地区公民館野球・バレー・卓球対抗試合及び交流	公民館部 227-2991
夏季夜間防犯パトロール	8月	各区	夜間防犯パトロール	防犯部 243-4271

しゃばえんびつ



最近あったこと

私は、山菜採りが好きで仲間にも恵まれ楽しんでます。この辺りの山菜のシーズンは、4月初頭から7月初頭までで、終わりが近づいてきました。山菜は、色々な食べ方ができ、うれしくも保存もでき後の楽しみも残してくれます。数年前から入山禁止の立て札が多くどこでもとはいきませんが、種々な事情があるようですので従いましょう。

さて、6月19日に志賀高原に根曲り竹採り(有料)に行ってきました。天気にも恵まれ迷う心配のないスキー場内の森に入り2時間。最上部のゲレンデに出て、中央部急斜面のゲレンデ左側を20～30mほど下った時、40～50m下方やや右前にクマが斜め右方向に登ってくるのを発見。幸いにも離れていたこともあり、最上部にいた仲間に「クマだー」と大声、その時クマは振り向いたが何事もなかったようにそのまま登り続けて行った。我に返り、同じゲレンデで姿を晒すのもと思い、大回りして別のゲレンデ方面に逃げ無事に下ることができました。

後で思えば、クマの方が先に私を察知し、私から離れて行ったのではないかと感じました。クマのニュースは連日報じられていて、鈴は常に着用していたが、出会い頭ということもあり撃退用スプレーでも用意しようかなと考えているところです。(松山 宏)



古牧地区の世帯数と人口

28年6月1日現在

11,201 世帯

26,751 人

(男 13,195人 女 13,556人)

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話・FAX 259-8359)
(HP <http://www.komakichiku.com/>)
- 発行者 宮島 俊文
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 ㈱小池印刷